

※ 実施の有無に関わらず、現時点で考えられる施策及び事業をリスト化している。

＜地域課題 1「公共交通の空白地・不便地域の移動手段の確保」に対する施策＞

○多様な輸送手段の組合せによる地域の足の確保

- ・ふるさとバスの「デマンド交通等」による運行への転換を検討（一部路線、利用者の少ない時間帯等）
デマンド交通等 … デマンドバス、乗合タクシー、自家用有償旅客運送、ボランティア（無償）輸送
- ・地域主体型交通（無償運送）の導入促進検討（支援制度創設検討）
- ・スクールバス（東別院、西別院、畑野）の一般混乗化の検討

○多様な輸送手段への支援制度充実

- ・地域主体型交通（無償運送）導入促進のための支援制度創設検討
- ・タクシー助成制度の創設検討（福祉施策等で検討）
- ・「亀岡市交通空白地等地域生活交通事業補助金交付要綱」による支援制度の継続・見直し

○交通空白地等を運行する既存路線の維持

- ・ふるさとバス等の現行路線の維持

＜地域課題 2「社会情勢の変化に対応した公共交通体系の確保」に対する施策＞

○移動需要に応じた路線編成

- ・利用状況・住民ニーズ等によるコミュニティバスの路線変更の検討
- ・地域内幹線（国庫補助路線）である八田線、原・神吉線の利用促進・改善・見直し検討
- ・まち（都市）の成熟度に応じた路線の充実の検討
※大井町南部地区、千代川町高野林・小林地区は、現在土地区画整理事業による開発が進められている。
※人口割合からすると現行路線が少ない地域への対応（東つつじヶ丘など）

○高齢者等の交通弱者への対応

- ・地域主体型交通（無償運送）の導入促進検討（支援制度創設検討）
- ・タクシー助成制度の創設検討
- ・ふるさとバスのフリー乗降導入（一部区間）

○持続可能な公共交通実現への対応

- ・コミュニティバス、ふるさとバスの運賃改定の検討
- ・路線バス各種割引の導入検討（高頻度利用者への負担軽減策）
※コミュニティバス、ふるさとバスの共通回数券の導入検討（紙媒体の回数券による使いやすさ）
※コミュニティバス、ふるさとバス共通エリアフリー定期券の導入検討（全線乗り放題）
※市内バス共通 1 日乗車券の導入検討（市内のバスが全線乗り放題）

＜地域課題 3「観光客の取込みによる賑わい創出（トロッコ・保津川下り客の回遊・滞在拡大等）」に対する施策＞

○観光と交通の連携

- ・トロッコ亀岡駅から J R 亀岡駅等を経由して、光秀ゆかりの地を周遊するバス・タクシーの検討
- ・観光資源や観光スポットへの公共交通アクセス情報の多言語による発信の検討
- ・バスのフリー乗車券と施設優待特典を組み合わせた企画乗車券の販売の検討

＜公共交通課題 1「まちづくりと総合的な公共交通ネットワークの再構築」に対する施策＞

○中心拠点（J R 亀岡駅）の機能充実

- ・スタジアム整備、亀岡駅北土地区画整理事業による新たな交流人口等の増加に伴う輸送力強化（J リーグをはじめとするイベント時等）
- ・亀岡駅へのアクセスを維持・向上し、市内全域から公共交通機関（JR・バス）によって亀岡駅へ移動できる環境を確保（乗継回数は原則 1 回以内）
- ・亀岡駅北に整備中の都市計画道路を運行する路線創設による亀岡駅へのアクセス強化（既存路線の再編含む）

○地域拠点（J R 馬堀駅・並河駅・千代川駅）の機能充実

- ・篠地域と市中心部との連絡、市立病院へのアクセス維持・利便性向上
- ・ふるさとバス並河駅コース現行路線の維持・利便性向上
- ・ふるさとバス畑野千代川コース現行路線の維持・利便性向上
- ・まち（都市）の成熟度に応じた路線の充実の検討

○地域（交流）拠点（京都学園大学）の機能充実

- ・京阪京都交通バス現行路線の維持・利便性向上 ※亀岡駅周辺（中心拠点）からのアクセス維持・利便性向上

＜公共交通課題 2「ふるさとバス・コミュニティバス・路線バスの利便性向上」に対する施策＞

○乗継抵抗の軽減

- ・乗継割引導入の検討（ふるさとバス⇄京阪京都交通バス）
- ・ふるさとバス（別院・畑野コース）の亀岡駅乗り入れの検討（1 日 1 便等）

○バス停留所・バスターミナルの高質化

- ・バスナビ（京阪京都交通）と連動した標柱への QR コード掲出による接近情報提供等
- ・高齢者等の要支援者を含む多くの利用者が見込まれる施設（病院、商業施設、役所等）への乗り入れ、最寄り停留所のバス待ち環境の向上 ※施設は可能な限り施設敷地内に設置し、降車後の移動負担の軽減

○中心拠点（J R 亀岡駅）での利便性向上

- ・亀岡駅周辺で買い物がしやすいダイヤ編成 ※全便ではなく特定の便。1 時間程度買い物をして帰ることができる等。
- ・亀岡地区コミュニティバスの一部路線変更を検討し、わかりやすいダイヤ編成（パターンダイヤ）での利便性向上
※（1 周 2 5 分＋待機 5 分）× 2 コース（東西）＝ 1 時間 等

○地域拠点（J R 馬堀駅・並河駅・千代川駅）での利便性向上

- ・馬堀駅周辺・並河駅周辺・千代川駅周辺で買い物がしやすいダイヤ編成 ※全便ではなく特定の便。1 時間程度買い物をして帰ることができる等。

＜公共交通課題 3「市民・地域での公共交通に関する関心の喚起」に対する施策＞

○多面的なモビリティマネジメントの実施

- ・バスの利用促進・ノーマイカー通勤推進のため「市民ノーマイカー day（仮称）」の創設検討（「毎月〇日は、無料で乗車可能」など）
- ・バス停付近まで自転車を利用しバスに乗り継ぐ「サイクル&バスライド」の検討
- ・市内小学校対象の交通環境学習の継続